

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ブランケット		公表日 2026年 4月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動等の環境構成により上手にスペースの確保がされている。	・児童の成長により狭く感じることもある。 ・雨天時でも運動活動ができるスペースがあったら嬉しいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85%	15%	活動時はもちろん、余暇時に児童がスペース移動を希望した際も人員配置を工夫できる限り対応している。	人員自体は適切だが、マンツーマンの児童との兼ね合い等考えると男性スタッフが1~2名ほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85%	15%	階段以外はバリアフリー化されており適切だと思う。作業スペースがあり、活動に取り組みやすい。	課題となるのがバリアフリー化である。施設の構造上難しいため。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日の清掃と活動に応じておもちゃ等のレイアウトを変更するなど環境構成している。 ・活動や食事後すぐテーブルをアルコールで拭いている。	・決まった場所のみなので細かいところはできていない時もある。曜日や担当を設定しておこなえるようにしたい。 ・児童が常にすぐ触れるところにゴミ箱がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	活動や児童の状態に応じて個別スペースや1階2階をつかい分けている。	・決まった個別部屋はないので必要があれば作ったほうが良いかもしれない。 ・スタッフの配置上個別で違う階を利用することを制限してしまうことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・次の日の朝に振り返りをし、休みの職員やパートさんにも共有している。 ・スタッフが各々タスクを整理し、PDCAサイクルに準じて実行している。	・振り返りの時間が長くなりがちなので時間を決めておくといいかも。 ・サイクルが途中で止まってしまう時もあるので意識して取り組んでいきたい。 ・引き続きタスク整理～実行をおこなう。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	都度、保護者様の意向を聞いて改善できるか考える機会を作っている。	・細かい内容等聞けるように送迎時に確認をする等して改善に繋げていく。 ・引き続き、スタッフ間で共有しながらおこなう。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎月1回以上の上長との個別面談をおこなっている。 ・細かく面談で聞き取ってくださる。改善委員会でもできました。 ・職員会議で最後気になることはないか確認があり、意見を言える場がある。 ・職員が記入する評価表に基づいて会議をおこなっている。	・委員会の設定をしてくださったので、意見があればどんどん提案していけるようになる。 ・引き続き、定期的に会議をおこなう。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	42%	42%		第三者による外部評価はおこなっていないが、今後必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	希望する研修の受講が可能。また、法人内研修を年間計画で作成し実施している。	引き続き、必要な研修を受講する。また、自身から受けたいと意欲をもって取り組んでいく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	児童の成長に合わせて活動内容を柔軟に変更し、保護者様にお知らせしている。	内容を把握されていない保護者もおられるので周知が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・半年に1回はスタッフ間でアセスメントの確認と振り返りをしている。内容の変更があればしている。 ・児童一人一人に対しアセスメントをおこない、児童によって内容の異なる計画を作成している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	会議を開き、今後はどのような支援方針でおこなっていくのかを全スタッフ共通で理解ができるようにしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・朝の時間にその日おこなう支援について職員間で話し合い計画に沿った支援かつ児童に合ったレベルで実施できている。 ・都度計画を確認しながら現状はどうか、今後どうしていくのか話し合いをしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個々に応じて必要なツールを使用、検討、実施しており、どんなツールを使用するのか日々の様子は全スタッフが共有できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	フェーズ5にわけて個々に合った支援内容を児童のレベルに合わせて設定している。	フェーズを設定しているが型にはめようとせず、さらに細分化するなど取り組み方法の拡充をおこなう。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・各プログラムに担当者を設定しており、共有と報告、取り組み方法を決めている。 ・構想～実施までスタッフ間でアイデアを随時共有している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	曜日を固定せずまんべんなく様々な活動を入れるようにしている。	同じ内容の行事でも少しずつ変化を加えた内容にしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画に合わせて専門的支援の計画書もあり、関連性を持たせながら支援内容を決めている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝の打合せの時間を設けている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85%	0%	翌朝(休み時は翌平日朝)に行っている。	行事含め振り返りをおこなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・日誌の記入は当日中に必ずおこなっている。 ・ヒヤリハット報告書なども活用し、記録している。	記録様式の統一。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6カ月に1回おこなっているケース会議で話し合いもしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	85%	15%	活動プログラムをガイドラインに沿った内容にあわせている。	・新人研修等によって理解を促す必要有。 ・現在の「ライフアップ」活動をより充実に行いきより良い支援につなげていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	個人の意見(全員)を尊重し、問題解決・解答につなげている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・基本的には管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%	必要に応じて保護者様に情報提供の承諾をいただきながら連携して取り組んでいる。	必要があれば主治医や市の障害福祉の担当課等の意見を聞き改善し体制を整えていきたい。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%	何かあってもすぐ確認出来る用の携帯がある。また事前を送迎の変更等ないかスタッフ間で確認もおこなっている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	保護者様を通して情報共有等をおこなっている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	必要に応じて連携をとっている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57%	28%	必要に応じて連携をとっている。	他施設との情報共有窓口は管理者がおこなうため、懇談への参加などから連携する方法を知る機会が必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	42%	42%	個人情報やトラブルになる可能性があるので難しいと考え、現在はおこなえていない。	リスク等がクリアになれば交流はしたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	42%	42%	現状できていない。	参加することで地域等関係広がるならしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や必要に応じた面談など、保護者とコミュニケーションをとる機会を設けている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	14%	情報提供はしているものの研修までは難しい。	保護者のニーズを読み取ることや、支援の共有、学校との連携など、全スタッフがこなすことは難しい為、研修など豊富な機会を設ける。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	管理者が契約の際に細かく伝え、わからないことがあれば都度説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	行事の内容など随時、児童や保護者にも意見を聞きながらプログラムを設定している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	児発管が懇談などの機会から説明と同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて都度、管理者による面談、送迎時にスタッフが対応できている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	42%	42%	現在交流の場を設けることはできていない。	今後も必要とは思われるが、保護者様が集まらないが多かった為、zoom等のオンライン開催も検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	送迎時にお伺い等すればすぐにスタッフ間で周知し翌日にはどうすればよかったのか検討し、その内容を保護者様に伝えるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	SNS(Instagram、HP)、紙媒体など様々な手段で共有している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	学びのプリントでは名前を書かない、名前を書いているものはシュレッダーをする等気を付けている。	児童から見るところにファイルを置いているときもあるので、見えないようにする等の対応を徹底する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	理解を促す言葉の選択やLINEなども活用して情報共有に努めている。	手話ができるスタッフが増えると良い。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	現在、おこなえていない。	クリアすべき課題や今では個人情報の保護など、招待する範囲を設定しないとリスクが高い。そのうえで、今年度の最終目標にプランケットフェス(買い物学習レク)ができればいいと思う。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	避難訓練は月1回、その他マニュアルは研修で確認したり変更があれば都度作成し保護者へ配布している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	毎月1回以上、避難訓練の設定をしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	おこなっている。服薬の変更があった場合、すぐに共有している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の診断書をもとに対応しており、おやつづくりやクッキングなど工程の変更をおこなっている。アレルギー対応の変更があった場合、すぐに共有している。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	緊急連絡先の提出と災害時の引き渡しなどマニュアルにて配布。 衛生管理委員会を設置し都度話し合いをしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	緊急連絡先の提出と災害時の引き渡しなどマニュアルにて配布。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	週はじめに前週にあったヒヤリハットの確認をしている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎年の研修で内容を変えながら都度、適切な対応、組織での検討をおこなっている。	引き続きスタッフ間で共有しながらおこなう。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	毎年の研修で内容を変えながら都度、適切な対応、組織での検討をおこなっている。	